

「映像話法の理論と実践」実施案内
2024年12月5日(木)～12月7日(土) 3日間

◆ 授業目的・概要

本講義の目的は、映像やサウンドを用いて研究対象を記録し“物語る”方法を学ぶことである。主に人類学、サウンドアート、シネマ、アーカイブズ学等の観点から、様々な映像の記録と表現について学ぶ。講師自身の制作した作品や資料をとりあげ、それらのアプローチについて考察する。本講義では、受講生自身が、作品を制作する上での基礎的な映像話法の理論と方法論を習得することを目指す。

◆ 担当教員

川瀬慈(国立民族学博物館/総合研究大学院大学人類文化研究コース教授)
高科真紀(国立民族学博物館助教)
柳沢英輔(日本学術振興会特別研究員 RPD/国立民族学博物館)
Inge Daniels(オックスフォード大学教授/国立民族学博物館客員)
Rossella Ragazzi(ノルウェー北極圏大学准教授)

◆ 日程・開催場所等

単位数 : 1単位
使用言語 : 日本語、英語
開催場所 : 国立民族学博物館本館2階第7セミナー室

【日程】

12月5日(木)
14:00 - 18:00 講義と演習『イメージの話法』川瀬慈

12月6日(金)
10:30 - 12:00 講義『アーカイブズとしての写真』高科真紀
13:00 - 16:00 講義と演習『音の記録と表現』柳沢英輔

12月7日(土)
9:00 - 12:00 映画上映と討論 Inge Daniels、Rossella Ragazzi
13:30 - 17:00 受講生による作品制作と発表

※上記の講義時間と講義内容の詳細については、今後調整し受講者に通知する。

◆ 申込方法

参加申込方法:

在学生は、Campus Plan から履修登録を行うことをもって参加登録とします。

Campus Plan については Website(<https://www.soken.ac.jp/campuslife/campusplan/>)をご確認ください。履修登録期間を過ぎている場合は、国立民族学博物館研究協力係総研大担当までご連絡ください。

他大学の方で聴講を希望される方は、国立民族学博物館研究協力係総研大担当までお問い合わせください。

なお、申込多数の場合は、選考により、参加者を決定させていただく場合があります。

宿泊等について:

本学学生については、1人あたり6万円を上限として交通費および宿泊費の一部(所定額)を後日、大学より支給します(銀行振込)。移動経費の支給を希望する場合は、以下の本学HPを参考に、「移動経費希望届」等を別途定

める期日までに所属コース大学院担当事務係宛に提出してください。

URL: http://www.soken.ac.jp/education/dispatch/trv_supp/index.html

宿泊先等は受講生各自で手配してください。宿泊料金等にキャンセル料、変更料金が発生した場合はは自己負担となりますので、ご注意ください。

◆ お問い合わせ先

国立民族学博物館研究協力係総研大担当

E-mail: souken@minpaku.ac.jp

電話: 06-6878-8308(直通)